

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	4490800093		
法人名	特定非営利活動法人しらゆり		
事業所名	グループホームしらゆり萩		
所在地	竹田市萩町瓜作4575-1		
自己評価作成日	評価結果市町村受理日	平成30年3月16日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	福祉サービス評価センターおおいた		
所在地	大分県大分市大津町2丁目1番41号		
訪問調査日	平成29年12月14日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

自然に囲まれた敷地中で自分の思いを大切に自立した生活が出来るように支援しています。地域の方たちとの交流や年1回のふれあいフェスタ、春は花見、夏は職員とバーベキュー、秋の紅葉と出来るだけ外出の機会を作り日々の生活を楽しんでもらえるように支援します。 毎年の梅干し作りに頑張ってもらってご家族にもよろこんで頂いています。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

環境も良く広々とした自然に恵まれ、アットホームで家庭的な雰囲気の中で入居者本意で支援されている。  
地域の方々との関係性も深く、支援して下さる体制も出来ている。  
職員は利用者本位に真剣に取り組み、職員間の連携も取れている。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	グループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎月の会議の時に理念を復唱して共有し実践に繋がるように努力している	理念を事務所入り口に掲げ、毎月の会議の時に唱和し、実践に繋げるよう努力している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日常的には無理ですが出来るだけ近所に出かけたり、行事に参加したりする、トマト生産者部会による「トマト愛の定期便」が来ます。保育園の跡地にあるため遊具を開放しております	隣接地が地域の公民館で、行事のたびに声がかかり、参加する事も多い。自治会の方が毎年門松を作ってくれるなど交流がある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	毎年行われる敬老会、シニアクラブとの交流、のなかで理解をいただいていると思われる		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	推進員さんの出席率がよく状況報告や取り組みに理解を頂いており、門松を作ってくれたり、施設の運営に理解と協力をしてくださいます	運営推進会議には推進員の出席率がよく、取り組みに理解もあり、意見を頂きながらサービス向上に活かすよう努めている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	介護保険課、高齢者福祉課、地域包括との部署の担当者との連絡は密に取れています、入退去届の提出、生保関係の連絡等	市町村担当者と日頃から連携が取れている。ひやり・ハツと等の事例にも助言をもらう等、良い支援関係が築かれている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員全員が理解をしています。又定例会議に於いても勉強会をします	拘束に対する意識の内部研修も行われ、職員間でも拘束をしないケアに取り組んでいる。外部研修も進んで参加し皆に伝達し支援に繋げている。玄関は日中開放している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	今年は2名が県の主催する虐待防止の研修を受け、職員、推進委員に報告をした、虐待予防チェックシートで勉強をしています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	当法人の入居者は当初から成年後見被後見人も受け入れがあり十分に理解をしている。県の研修に管理者、職員の参加している		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	管理者が契約書、重要事項等十分にせつめいをしています		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会を設けており担当職員との話し合いの機会を作り出来る限りの要望に応えられるようにしています。	家族会が毎年5月に開かれており、担当が利用者の様子を報告し家族からの要望を聞き、職員で検討し運営に反映させている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の会議で意見や提案をしています。	要望や意見は伝言ノートを基に毎月月末に開かれる会議で話し合い、改善すること等の意見を出し合い検討している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	給与水準、労働時間とは職員の希望に添えてい		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修の機会は設けています、小規模事業所連携事業により年間5回研修あり、また実践者研修リーダー研修の機会もあります		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	小規模事業者と関係もあり研修をとおして交流会もある		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人家族の要望にはケアマネージャーが時間をかけ話し合いを行っています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	担当者を決めいつでも相談にのれるようにしています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	どこがベストなのか、ご本人、家族にとって一番良い方法を提案するようにしてる		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	気軽に話の出来る温かい家庭的な雰囲気の中で生活できるように努めています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	出来る限り関わりを持って頂くように面会時間や面会簿等は置かずいつでも気軽に来れるようにしている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	お友達が来られた時等また来たくなるように配慮している、入居者会議で行きたいところはない、したいことはないか聞いて意向に沿えるように努めています	スタッフも地元の方が多く、馴染みの人もいるので職員との繋がりがりや雰囲気作りも出来ている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居の方通所の方など良い関係が持てるように職員の配慮をする、レクレーションをする		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入居時の関係をいつまでもいじしています		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者会議が以前は毎月でしたが今は2,3か月に1度要望を聞くようにしています	入居者会議や日々の会話の中で要望を聞きながら、アセスメントシートを元に職員間で共有し検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメント、モニタリングでご家族ご本人の聞き取りをして経過の把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎朝バイタルチェックをしてその日の状況に合わせて支援しています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者が最初のモニタリングを作り会議で全員でケアマネと話し合いをしている	月1回モニタリング担当者とスタッフ会議をし、気付きを記録しプランに沿って支援されている。行事の参加等、記録を基に介護計画が作られている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録の充実、気いたことはすぐに記録するようにしている。職員間で共有している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	毎日レクをしたい方、自室で休みたい方それぞれの要望に合わせるようにしたい		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	門松の有志の会の皆さんに門松を作ってもらい、ただし高齢者が多く地域資源の限界がある		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の受診等信頼でき良い関係が出来ている	以前からのかかりつけ医での支援、訪問診療や医師との連携も取れている。専門医へも適切な医療が受けられるよう支援されている。スタッフが同行する事もある。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週1回訪問看護の契約があるので体調不良の時など迅速に対応できている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院の地域連携室と連絡をとりご家族が安心できるように努めている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に方針を文章にして家族の意向を聞いている。看取りを希望されるときはその時に話し合いをする	重度化や終末期の方針は入所時に説明・確認・同意がされている。週1回訪問が医師会より来てくれ、適切な対応や支援がされている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急救命講習を職員が毎年受講している		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	今年から火災訓練だけでなく災害時避難訓練も行った、但し災害時避難は留まる 推進委員さんの協力をお願いするようにしています	年2回訓練を実施している。防災ずきんを作り、夜間想定もシュミレーション済み。隣に消防機庫があり、地域の協力も得られる。備蓄も1週間分ある。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	居室に入るときは必ず声掛けをする、その方に合わせた話し方をする。	地域での研修や市の人権研修で学んだ事を職員と話し合いながら、プライバシーに配慮した対応に心掛け支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自分のしたいことをして下さいといつも声掛けに心がけています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	体操は皆さんされますがレクはしたい方、したくない方と分かりますが出来るだけ自由にさせていただくようにする		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	服装のメリハリを、寝るときは寝間着に着替えていただく、朝の着替え、散髪、出来るだけ配慮しています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員の手作りの食事を楽しんでいただいています、よろこんで片付けをして下さる方をお願いをしています、	ホームでの3食手作りを基本にしている。地域の方から頂いた野菜等を使用し、家庭的な食事作りに努めている。干し柿や梅干し作りなど、利用者と一緒に楽しみながら支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量を記録しています、好き嫌いの把握もできています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後歯磨きの手伝い、口腔ケアに努めています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	ポータブルの使用は基本的にないのでトイレに行きます、本人の希望により夜間オムツの場合があります	日中の排泄パターンを把握しており、トイレへの声掛け誘導をし自立に向けた支援をしている。ポータブルの使用はなく、トイレを使用することで少しでも自立へと支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝ヨーグルトを食べる、食事には必ず野菜を食べるようにしています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週2回は入浴しますがその時の状況によりたびたび入浴することもあります。職員の都合になるのは仕方ないと思っています。	本人の希望とタイミングをみて入浴を楽しんでもらっている。パラ湯にするなど雰囲気作りにも気を配っている。基本として週2回は入浴している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜は静かに寝られる環境にあります		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全職員が薬の理解をしています、声をかけながら確認しながら服薬管理しています、		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	外出、外で焼肉、花を植える等出来ることはして頂くようにしています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	春、秋の外出、外食、広い敷地なので外に出たり周りを散歩します 地域のお祭りに出かける等	保育所の跡地で園庭が広い。山桃、ブルーベリー、びわの木も植えられており庭を散歩する事もある。道の駅、花公園などの外出も支援されている。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	春、秋の外出時に買い物の機会を持ちます、お金はご家族からの預かりで対応します		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯を持っているかたはそのまま自由にご家族との連絡に使っていただいています、はがきを出される方にも支援しています		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節がわかるようにしています。カレンダー、壁画 ストーブ、エアコン、床暖房等の設備があります。	広い廊下にゆとりの空間が多く、季節に応じた手作りの手芸品が飾られている。床暖房もしており、居心地よく過ごされる工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	通所の方とお話しされたり一緒にテレビを見たりできる居場所があります		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	なじみの物、家族の写真等飾り自分の部屋になっている	馴染みのソファや椅子、小物等が持ち込まれ自宅にいた時と同じように使い慣れた物を使用している。家族写真も沢山飾られている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	食堂、トイレ等分かりやすく工夫しています		